

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		健康増進課		健康企画係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実			
事業名		地域医療体制の充実							
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
	細目	1	保健衛生総務費	細々目	2	保健衛生一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内の医療機関における看護師不足を補うため、厚狭准看護学院において准看護師を養成している。卒業後市内の医療機関での就業や上級学校への進学により、地域医療の充実に貢献している。また、入院中に生活機能が低下する高齢者が増加傾向にある。生活機能が低下すると自宅での生活に支障をきたすことになる。		准看護学院において、2年間のカリキュラムにより准看護師を養成する。また、赤十字病院内に設置された老人保健施設において、生活機能の回復を図っている。		准看護学院運営費の補助、老人保健施設整備に係る費用の償還補助。	
活動指標			成果指標		
准看護学院の定員、卒業生			卒業生のうち市内に就職及び進学者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
定員 20名		卒業 15名		80	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	21,441	21,440,625	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100%)		21,441	21,440,625	
合計		21,441	21,440,625	合計		21,441	21,440,625
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	3,140,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
小野田准看護学院が閉鎖されるなど准看護学生が年々減少傾向にある。	准看護学院のPRを強化し学生数の増加を図るとともに、准看護師の採用枠の拡大についても市内の医師会に協力要請する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	健康増進課	健康企画係	No	2	
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)		
3 生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2 地域医療の充実	1 地域医療体制の充実			
事業名	救急医療体制の充実				
款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
細目	1 保健衛生総務費	細々目	2 保健衛生一般管理費(単独)	会計種別	一般会計
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
本市を取り巻く宇部・小野田医療圏は、宇部市、美祢市において公立病院等が充実している。今後は宇部・小野田医療圏の中で本市の市民病院としての機能・役割を明確にし、非効率、重複する機能は合理化する必要がある。そして市民病院と民間診療所、公立病院同士が役割を分担しながら連携を強めることで、体系的な医療提供体制の整備を図る必要がある。	休日医療体制の充実を図り、宇部・小野田医療圏での二次救急を365日体制とし応分の負担を行う。また、産科医の確保を図る。	救急休日医療対策業務委託について医師会と契約する。二次救急については宇部市を事務局とする宇部・小野田医療圏の中で協議を進める。産科医の確保については分娩を実施した産科医に対して助成を行う。	
活動指標		成果指標	
協力医療機関数		協力医療機関の稼働日数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
10病院	9病院	365日	365日
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	7,985	7,450,706	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100%)		7,985	7,450,706	
合計		7,985	7,450,706	合計		7,985	7,450,706
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,826,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
救急患者があっても救急病院が受け入れることが困難な場合があるので、二次医療圏内の当該事業に協力していただく病院数を増加させる必要がある。また、産科医が不足しており安心して子供を産み育てることに不安を感じている。	医療圏内にある公立病院や総合病院のうち、当該事業への協力を要請し、対応する病院数の増加を図る。また、山口大学医学部の卒業生のうち産科を専攻した者が地元に残るよう働きかけを大学に要請する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		健康増進課		健康企画係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	3	生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2	地域医療の充実	1	地域医療体制の充実			
事業名	在宅医療の充実								
予算費目	款	1	訪問看護事業費	項	1	訪問看護事業費	目	1	訪問看護事業費
	細目	1	訪問看護事業費	細々目	1	訪問看護事業費	会計種別	特別会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
高齢化の進展に伴い、在宅での要支援者が増加している。これらの要支援者の多くは健康に不安を感じている方も多量中、医療現場としては医師不足による往診業務の縮小や入院患者の増加による病床不足など、在宅要支援者にとって医療サービスは厳しい状況にある。		在宅要支援者の健康チェック、入浴介助や機能回復の指導を行っている。また、家族に対して介護相談を行っている。		在宅となった要支援者に対し、担当主治医の指示に従い訪問による看護等を行う。要支援者の状況は随時主治医に連絡する。	
活動指標			成果指標		
稼働日数			訪問件数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
245日		245日		2,284件	1,990件
					87.1%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,042	491,569	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	586	479,650		県支出金 ()		
	委託料	462	462,000		地方債 ()		
	使用料及賃借料	711	693,735		その他 (100%)	6,694	3,055,767
	その他	3,893	928,813		一般財源 ()		
合計		6,694	3,055,767	合計		6,694	3,055,767
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		5.3	12,835,040				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
近年、民間の訪問看護事業者が増加し、それらは24時間体制でサービスを提供している。これにより新規の要支援者は民間事業者を利用する者が多く、市訪問看護ステーションの利用者は減少傾向にある。	事業の廃止

事業の方向性(一次評価)	
C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	健康増進課	健康企画係	No	18
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)	
3 生涯を通じた健康づくり・地域医療体制の整備	2 地域医療の充実	1 地域医療体制の充実		
事業名	二次救急医療体制の充実(救急医療体制の充実)			
款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目
細目	1 保健衛生総務費	細々目	2 保健衛生一般管理費	会計種別
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
本市を取り巻く宇部・小野田医療圏は、宇部市、美祢市において公立病院等が充実している。	休日医療体制の充実を図り、宇部・小野田医療圏での二次救急を365日体制とし応分の負担を行う。	宇部市を事務局とする宇部・小野田医療圏の中で協議を進める。	
活動指標		成果指標	
協力医療機関数		協力医療機関の稼働日数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
10病院	9病院	365日	365日
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	7,985	7,450,706	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100%)		7,985	7,450,706	
合計		7,985	7,450,706	合計		7,985	7,450,706
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,826,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
救急患者があっても救急病院が受け入れることが困難な場合があるので、二次医療圏内の当該事業に協力していただく病院数を増加させる必要がある。	医療圏内にある公立病院や総合病院のうち、当該事業への協力を要請し、対応する病院数の増加を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--